

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月14日

上場会社名 株式会社あかつき本社 上場取引所 東
 コード番号 8737 URL <https://www.akatsuki-fg.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島根 秀明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員社長室長 (氏名) 北野 道弘 TEL 03-6821-0606
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	25,650	△4.9	10,548	△20.7	719	△48.5	498	△57.1	275	△71.2
2022年3月期第3四半期	26,977	△4.4	13,301	14.5	1,396	△18.1	1,163	△19.2	956	2.3

(参考) 税金等調整前当期純利益 2023年3月期第3四半期 526百万円 (△60.3%) 2022年3月期第3四半期 1,326百万円 (△7.6%)

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 278百万円 (△70.2%) 2022年3月期第3四半期 936百万円 (△0.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	8.96	—
2022年3月期第3四半期	31.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	68,952	14,480	20.0	448.19
2022年3月期	64,183	14,772	22.0	459.66

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 13,796百万円 2022年3月期 14,091百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	9.50	—	8.50	18.00
2023年3月期	—	9.50	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	9.50	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2023年3月期の期末配当予想は、現時点で9.5円でございます。

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	37,500	106.2	1,500	95.7	1,200	97.6	600	59.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2023年2月14日）公表いたしました「2023年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※参考情報として「税金等調整前当期純利益連結業績予想」も開示します。

税金等調整前当期純利益：1,200百万円（対前期増減率：84.4%）

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	34,029,544株	2022年3月期	34,029,544株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	3,247,599株	2022年3月期	3,374,179株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	30,705,268株	2022年3月期3Q	30,848,155株

期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、ESOP信託口及びBBT信託口が所有しております当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手しております情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年12月31日まで)において、当社グループは各セグメントにおいて以下のような取り組みを行ってまいりました。

① 証券関連事業

あかつき証券㈱では、金融商品仲介（IFA）ビジネスの拡大、及び金融機関とのアライアンスの強化を戦略的に進めています。

IFAビジネスでは、契約外務員による顧客サポートの更なる充実に寄与すべく、顧客管理システムを機能充実した上で、本年1月に全面的に刷新したポータルサイトへ統合しました。取引利便性向上のために昨年導入した、営業員による株式・投資信託等のモバイル端末からの取引発注システムも認知が進み、取引量の増加が見られました。こうした取り組みとともに、強みとする対面サポート力のさらなる強化を進めており、結果として、2022年12月末の契約仲介業者外務員数は1,416名（2022年3月末比231名増）、金融商品仲介子会社のジャパンウェルズアドバイザーズ㈱の提携金融機関における管理資産残高を含めた預り資産残高は3,842億円（同52億円増）、IFA部門の預り資産残高は2,050億円（同216億円増）と拡大しております。

金融機関とのアライアンス強化については、2022年4月に関信用金庫および芝信用金庫の2社と顧客紹介に関する業務提携契約を締結しております。今後も金融機関とのアライアンスの強化を推進し、顧客基盤の強化と販売チャネルの拡大を進めて参ります。

業績面では、株式・投資信託等の受入手数料が増加した半面、債券のトレーディング損益が減少したため、減収・減益となりました。

(証券関連事業の営業収益及びセグメント利益)

(単位：百万円)

	2022年3月期 第3四半期連結累計期間	2023年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率
営業収益	9,745	7,117	△27.0%
セグメント利益	529	△10	－%

② 不動産関連事業

中古マンションの買取再販を行う㈱マイプレイスは、東京本社（中央区）、横浜本社（横浜市）、新宿営業部（渋谷区）における営業拠点に加え、5月に千葉エリアを担当する首都圏営業部（千葉市美浜区）を設け、取引機会の拡大に努めています。空室物件（後述「タイプA」）及び賃借人付物件（後述「タイプB」）の仕入戸数は、それぞれ457戸、54戸（前年同期は366戸、142戸）となり、販売戸数は459戸（前年同期は455戸）となりました。また、リノベーションの設計・施工を手掛ける㈱バウテックグループにおいては、完工数が653戸（前年同期は530戸）と安定して推移しました。

高齢者施設開発を手掛けるEWアセットマネジメント㈱は、既に稼働中の2件に加え、5月に熊本県熊本市、7月に兵庫県西宮市、8月に京都府京都市において開発中であった3件の竣工を迎えました。

業績面では、中古マンションの販売戸数の増加及び販売単価の上昇により増収となったものの、仕入単価及び原材料価格の上昇により減益となりましたが、概ね堅調に推移しています。

(不動産関連事業の営業収益及びセグメント利益)

(単位：百万円)

	2022年3月期 第3四半期連結累計期間	2023年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率
営業収益	17,447	18,758	7.5%
セグメント利益	1,554	1,435	△7.6%

これらの結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結業績は以下のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	2022年3月期 第3四半期連結累計期間	2023年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率
営業収益	26,977	25,650	△4.9%
営業利益	1,396	719	△48.5%
経常利益	1,163	498	△57.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	956	275	△71.2%

(補足情報)

I. あかつき証券㈱、ジャパンウェルスアドバイザーズ㈱、トレード・サイエンス㈱

あかつき証券㈱は、リテール営業に加え、戦略的にIFAビジネスの強化、地域金融機関との提携、AI・フィンテックを活用したアドバイス力の強化を進めております。中でも2014年から本格参入しているIFAビジネスは拡大傾向にあります。なお、以下はあかつき証券㈱に同子会社であるジャパンウェルスアドバイザーズ㈱及びトレード・サイエンス㈱を連結した補足情報です。

(a) 経営成績（四半期会計期間毎）

(単位：百万円)

	2022年3月期				2023年3月期			
	1Q (4～6月)	2Q (7～9月)	3Q (10～12月)	4Q (1～3月)	1Q (4～6月)	2Q (7～9月)	3Q (10～12月)	4Q (1～3月)
営業収益	3,046	3,474	3,227	2,178	2,355	2,524	2,239	—
営業利益	186	215	131	△136	△117	86	24	—
経常利益	201	225	133	△145	△97	97	23	—
当期純利益	142	154	83	△36	△48	64	△15	—

(b) 預り資産

(単位：百万円)

	2022年3月期				2023年3月期			
	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)
預り資産	321,109	341,681	360,321	378,923	379,748	378,366	384,218	—
(うちIFA)	132,286	146,355	168,150	183,401	192,278	204,090	205,016	—

(注) あかつき証券㈱とジャパンウェルスアドバイザーズ㈱の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。

なお、IFA法人であるジャパンウェルスアドバイザーズ㈱の預り資産（の一部）351億円をリテール部門に移管したため、内訳数値について遡及修正しております。

(c) 契約外務員数

	2022年3月期				2023年3月期			
	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)
契約 外務員数 (人数)	849	994	1,082	1,185	1,239	1,342	1,416	—

II. ㈱マイプレイス、㈱バウテックグループ、㈱マイプランナー

㈱マイプレイスは、東京都及び神奈川県を中心とした首都圏において、住宅一次取得者層向けの中古マンション事業を行っておりますが、①賃借人なしの空室中古マンションを購入後、直ちにリノベーションを施し売却するケース(以下「タイプA」といいます。)と、②賃借人付の中古マンションを購入後、一定期間賃料収入を得、賃借人の退去後にリノベーションを施し売却するケース(以下「タイプB」といいます。)があります。また、㈱バウテックグループは、㈱マイプレイス及び外部の買取再販事業者向けにリノベーションの設計・施工サービスを提供しております。なお、以下は㈱マイプレイス、㈱バウテックグループ及び㈱マイプランナーを連結した補足情報であり、3社間の内部取引を消去したものであります。

(a) 経営成績 (四半期会計期間毎)

(単位：百万円)

	2022年3月期				2023年3月期			
	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)
売上高	5,787	5,067	6,052	6,063	5,197	5,849	7,229	—
営業利益	615	502	614	551	510	459	581	—
経常利益	561	465	572	481	443	394	485	—
当期純利益	385	433	394	385	306	274	375	—

(b) 中古マンションの仕入状況 (四半期会計期間毎。カッコ内は前年同四半期会計期間との増減。) (単位：戸)

	2022年3月期				2023年3月期			
	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)
タイプA	108 (+2)	140 (+52)	118 (+7)	149 (△1)	144 (+36)	174 (+34)	139 (+21)	—
タイプB	53 (+48)	27 (+21)	62 (+39)	38 (+5)	15 (△38)	22 (△5)	17 (△45)	—
合計	161 (+50)	167 (+73)	180 (+46)	187 (+4)	159 (△2)	196 (+29)	156 (△24)	—

(c) 中古マンションの販売状況 (四半期会計期間毎。カッコ内は前年同四半期会計期間との増減。) (単位：戸)

	2022年3月期				2023年3月期			
	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)
販売戸数	164 (+28)	140 (△92)	151 (△43)	152 (△40)	127 (△37)	148 (+8)	184 (+33)	—

(d) 中古マンションの在庫状況 (四半期会計期間末)

(単位：戸)

	2022年3月期				2023年3月期			
	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)
タイプA	203	231	240	270	317	389	380	—
タイプB	490	489	509	514	499	475	456	—
合計	693	720	749	784	816	864	836	—

(e) ㈱バウテックグループによるリノベーション完工数 (四半期会計期間毎)

(単位：戸)

	2022年3月期				2023年3月期			
	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)
㈱マイプレイス向け	152	109	136	130	157	170	178	—
外販	43	36	54	72	46	50	52	—
合計	195	145	190	202	203	220	230	—

(注) 外販とは、外部の買取再販事業者向けの設計・施工サービスとなります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4,768百万円増加し、68,952百万円となりました。これは主に、販売用不動産が4,626百万円、信用取引貸付金が1,190百万円増加し、トレーディング商品が563百万円、預託金が293百万円、土地が215百万円減少したことによるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ5,060百万円増加し、54,471百万円となりました。これは主に、短期借入金が2,943百万円、預り金が1,564百万円、信用取引借入金が1,208百万円増加し、1年内返済予定の長期借入金が1,561百万円、信用取引貸証券受入金が231百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ291百万円減少し、14,480百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期連結業績予想については、2022年5月16日付「2022年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「2023年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,359,983	13,389,206
預託金	13,182,140	12,888,600
トレーディング商品	722,462	158,674
約定見返勘定	55,903	527,674
信用取引資産	2,585,205	3,608,572
信用取引貸付金	2,347,062	3,537,689
信用取引借証券担保金	238,143	70,882
差入保証金	351,245	370,900
販売用不動産	25,100,186	29,726,485
その他	2,043,949	1,687,661
流動資産計	57,401,075	62,357,774
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	633,358	572,278
土地	384,722	169,398
その他	128,125	142,624
有形固定資産合計	1,146,205	884,302
無形固定資産		
のれん	1,345,181	1,183,759
その他	259,718	391,504
無形固定資産合計	1,604,899	1,575,263
投資その他の資産		
投資有価証券	3,170,590	3,198,392
その他	1,053,925	1,129,118
貸倒引当金	△192,974	△192,527
投資その他の資産合計	4,031,542	4,134,983
固定資産計	6,782,647	6,594,549
資産合計	64,183,723	68,952,324

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
トレーディング商品	6,126	—
信用取引負債	1,686,543	2,663,622
信用取引借入金	1,276,627	2,485,333
信用取引貸証券受入金	409,915	178,289
預り金	12,631,195	14,196,068
受入保証金	673,353	898,350
短期社債	7,000,000	7,000,000
短期借入金	10,791,549	13,735,291
1年内返済予定の長期借入金	2,613,043	1,051,563
ノンリコース1年内返済予定長期借入金	796,670	743,670
未払法人税等	130,099	66,412
その他	2,099,740	2,253,006
流動負債計	38,428,321	42,607,985
固定負債		
長期借入金	7,608,769	7,534,615
ノンリコース長期借入金	1,464,030	2,212,490
退職給付に係る負債	229,196	240,778
役員株式給付引当金	1,001,508	1,072,704
その他	655,496	779,113
固定負債計	10,959,001	11,839,701
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	24,107	24,107
特別法上の準備金計	24,107	24,107
負債合計	49,411,429	54,471,794
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,665,452	5,665,452
資本剰余金	3,131,156	3,124,529
利益剰余金	6,555,544	6,219,363
自己株式	△1,274,558	△1,227,213
株主資本合計	14,077,595	13,782,131
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,138	2,086
為替換算調整勘定	11,455	11,975
その他の包括利益累計額合計	13,594	14,062
新株予約権	9,529	9,529
非支配株主持分	671,573	674,805
純資産合計	14,772,293	14,480,529
負債・純資産合計	64,183,723	68,952,324

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業収益		
受入手数料	1,666,319	2,326,115
トレーディング損益	7,817,636	4,520,806
金融収益	46,754	45,907
不動産事業売上高	17,446,965	18,757,545
営業収益計	26,977,675	25,650,375
金融費用	23,026	16,958
売上原価		
不動産事業売上原価	13,653,439	15,084,849
売上原価合計	13,653,439	15,084,849
純営業収益	13,301,209	10,548,567
販売費及び一般管理費		
取引関係費	5,928,658	4,101,907
人件費	2,805,748	2,945,354
不動産関係費	308,144	346,339
事務費	478,566	427,372
減価償却費	115,449	135,137
租税公課	332,445	303,759
販売手数料	402,476	433,318
のれん償却額	161,421	161,421
その他	1,372,037	974,823
販売費及び一般管理費合計	11,904,949	9,829,435
営業利益	1,396,260	719,132
営業外収益		
受取配当金	18,503	35,869
投資有価証券売却益	240	0
投資事業組合運用益	7,103	107,644
不動産取得税還付金	76,268	39,657
その他	42,488	47,365
営業外収益合計	144,604	230,537
営業外費用		
支払利息	272,642	315,277
支払手数料	72,282	107,884
その他	32,668	27,932
営業外費用合計	377,593	451,094
経常利益	1,163,270	498,575
特別利益		
固定資産売却益	170,516	62,629
特別利益合計	170,516	62,629
特別損失		
固定資産売却損	—	909
固定資産除却損	7,093	34,159
関係会社株式売却損	156	—
特別損失合計	7,250	35,069
税金等調整前四半期純利益	1,326,536	526,135
法人税、住民税及び事業税	262,125	233,650
法人税等調整額	126,204	14,153
法人税等合計	388,330	247,804
四半期純利益	938,206	278,331
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△17,978	3,231
親会社株主に帰属する四半期純利益	956,184	275,099

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	938,206	278,331
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,252	△51
持分法適用会社に対する持分相当額	2,413	519
その他の包括利益合計	△1,838	467
四半期包括利益	936,368	278,799
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	954,346	275,567
非支配株主に係る四半期包括利益	△17,978	3,231

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	証券関連事業	不動産関連事業			
営業収益					
外部顧客に対する 営業収益	9,530,709	17,446,965	26,977,675	—	26,977,675
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	215,000	836	215,836	△215,836	—
計	9,745,709	17,447,801	27,193,511	△215,836	26,977,675
セグメント利益	529,108	1,554,385	2,083,493	△687,233	1,396,260

(注) 1. セグメント利益の調整額△687,233千円には、セグメント間取引消去△215,000千円、全社費用△472,233千円が含まれております。なお、セグメント間取引消去は主に当社とあかつき証券㈱との間での社債関連手数料の消去であり、全社費用は主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	証券関連事業	不動産関連事業			
営業収益					
外部顧客に対する 営業収益	6,892,829	18,757,545	25,650,375	—	25,650,375
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	225,000	836	225,836	△225,836	—
計	7,117,829	18,758,382	25,876,212	△225,836	25,650,375
セグメント利益 又は損失(△)	△10,879	1,435,856	1,424,976	△705,844	719,132

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△705,844千円には、セグメント間取引消去△225,000千円、全社費用△480,844千円が含まれております。なお、セグメント間取引消去は主に当社とあかつき証券㈱との間での社債関連手数料の消去であり、全社費用は主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。